

第7回 騎射競技クラス検定会要項

2010年6月26日(土) 小雨決行

場所

真鶴町お林展望公園

主催

NPO法人日本和種馬文化研究協会

後援

真鶴町

協力

紅葉台木曾馬牧場

サドルバック牧場

< お問い合わせ >

〒250-0025 小田原市江之浦415
サドルバック内 NPO法人 日本和種馬文化研究協会

Tel 0465-29-0830

Fax 0465-29-0414

E-mail voice@saddle-back.com

<http://www.saddle-back.com>



< 開催趣旨 >

本検定会は、NPO法人日本和種馬文化研究協会が「馬上弓くらべ」(所謂、流鏑馬)と言う名のもとに、和式馬術や和種馬を通じた日本文化や、中世以降、武士により武芸鍛錬の為に行われてきた騎射技法を復元し、神事や流派のしきたりなどにとらわれない競技として研究、且つその技術向上と普及(スクール及び競技会の開催)を目的とする活動を、過去8回の小田原城や、関連するその他の大会において、来場見学者の方々との交流を盛り込み開催しておりましたが、その背景、趣旨、内容に賛同される参加希望者が回を重ねるごとに増え、その範囲が関係スクールや一競技会の枠を超えてしまいました。

そこで、この取り組みが限られた枠にとらわれず、公平で地域と共に発展できるよう、安全を第一にこの競技会へ参加する技術、能力の審査「騎射競技クラス検定」を設け、将来的にも有意義で安全な競技会開催を計るものとしています。

今回はその第7回として、真鶴町のご後援、ご協力の下、地域の活性を含む、何れは「和種馬の町」として恒例化出来ぬもかとの試みでもあります。

< 実施要項 >

- 日 時 : 2010年6月26日(土) 雨天決行
午前9:00~16:00(終了予定)
- 場 所 : 真鶴町お林展望公園(旧真鶴サボテン公園)
神奈川県足柄下郡真鶴町真鶴 1178-1
- 主 催 : NPO法人 日本和種馬文化研究協会
- 後 援 : 真 鶴 町
協 力 : 紅葉台木曾馬牧場
: サドルバック牧場
- 内 容 : ジュニアクラス検定
心得クラス二級検定 心得クラス一級検定
初級クラス検定
初級クラス合格者よる騎射競技



参加 資格 : サドルバック流鏑馬スクールに参加した事がある者、今までに小田原大会、開成町大会に出場した事のある者及び、紅葉台木曾馬牧場流鏑馬スクーリング参加者 または 小田原城馬上弓くらべ大会へ出場を希望する者で、大会出場レベルにある者と競技委員に認められた者

◎ この要項をよく読み、検定及び競技会の内容を理解、承諾の上お申込

ください。(お申込は、内容の理解、承諾をされたものとします。)

また、安全運営上、要項内容、検定内容に変更がある場合があります。

◎受けられる検定の種類

- ◎心得1級クラス、初級クラス検定のかたは、今回当日 **1検定のみ**受験できます。
- ◎今回 心得2級クラス検定受験者のみ 合格の場合当日引き続き **1級クラス検定を受検**できます。(心得2級は基本に関わる事で、出来るだけ皆さんに合格して頂きたい意味で、**2級から1級も2級2回も1回の検定料金**です。)
- ◎ もし不合格の場合でも、続けてもう1回だけ2級検定を受けることができます。
2回目で受かった方は次の1級クラス検定には進めません(受験できません)

競技会 馬使用規定 (この規定に従い、馬揃えによるクラス分けの参加定員を決定しています)

1頭につき本番騎射走行、1日8走まで (1人2走で競技を予定。)

大会出場可能人数

- ・ジュニアクラス検定 定員 名 使用頭数予定 頭
- ・心得クラス一、二級検定 定員 名 使用頭数予定 頭
- ・初級クラス検定 定員 名 使用頭数予定 頭
- ・初級クラス検定合格者による競技会 (対象、初級検定会合格者 11名)

検定の種類

- ジュニアクラス検定
- 心得二級検定
- 心得一級検定
- 初級検定

(全ての検定は、試走1走、本走2走行で行います)

各クラスの判定は、審判員によって判定しますが、失権などの最終判断は、競技委員長が行います。 また、当日の馬の状況を見て競技委員長判断で馬配を調整する場合があります。

各クラスの検定内容

ジュニアクラス検定

○流れ

- ① 服装(和装)、装備(弓、矢)の確認
- ② 試走1走目 **先導馬引率により速歩走行**、矢は放たない。

- ③ 本走1走目 先導馬に続き速歩での騎射 (的矢 1的 弓手横射 矢は番えてスタート)
- ④ 本走2走目 ③と同じ

○コース およそ 80メートル

○検定内容及び合格基準 (○、×で判定する)

- ① 服装、装備が適正である。
- ② スタートから安全に先導馬に続き速歩での騎射 (1的) ができる。
- ③ 途中先導者の指示に従い安全に静止 (停止) できる。
- ④ 2走 (2的) とも、的中する。
※ 落馬、放馬は失権とする。

上記①から④がすべて ○ の時、ジュニアクラス合格となり、以降心得クラス

ス二級受験資格を得ることができる。

(心得クラス二級の受験については、検定審判員が、年齢、能力などを判断の上、許可する)

心得クラス二級検定

○流れ

- ① 服装 (和装)、装備 (弓、矢) の確認
- ② 試走1走目 先導馬引率により速歩走行、矢は放たない。
- ③ 本走1走目 先導馬に続き速歩での騎射 (的矢 2的 弓手横射 矢は番えてスタート)
- ④ 本走2走目 ③と同じ

○コース

- ・ 静止スペース 4 m
- ・ スタートから1の的 25 m
- ・ 1の的から2の的まで 50 m
- ・ 2の的からゴールまで 15 m
- ・ ゴールから静止スペースまで 15 m
- ・ 静止 (停止) スペース 4 m

○検定内容及び合格基準 (○、×で判定する)

- ① 服装、装備が適正である。
- ② スタートから安全に先導馬に続き速歩での騎射 (2的) ができる。
- ③ 途中先導者の指示に従い安全に静止 (停止) できる。
- ④ 2走行とも、全て (2的とも) 的中する。

※ 落馬、放馬は失権とする。

上記①から④がすべて **○** の時、心得二級合格となり、以降心得一級受験資

格を得ることができる。

心得クラス一級検定

○流れ

- ① 服装（和装）、装備（弓、矢）の確認
- ② 試走1走目（**1頭ずつ走行、矢は放たない**）
 - ・静止スペースに入り、3秒以上10秒以内静止後、スタート（足踏み可）する。
 - ・ゴール通過後、停止位置に3秒以上10秒以内静止し、その後退場する。
- ③ 本走1走目（的矢 2的 弓手横射 **矢は番えてスタート**）
 - ・静止スペースに入り、3秒以上10秒以内静止後、スタート（足踏み可）する。
 - ・1の的、2の的の騎射を行う。
 - ・ゴール通過後、停止位置に3秒以上10秒以内静止し、その後退場する。
- ④ 本走2走目 ③と同じ
 - ・2走目は試走がありません ・1走目と2走目は馬が変わります。

○コース

- ・静止スペース4m
- ・スタートから1の的 25m
- ・1の的から2の的まで50m
- ・2の的からゴールまで15m
- ・ゴールから静止スペースまで15m
- ・静止（停止）スペース4m

○検定内容及び合格基準（○、×で判定する）

- ① 服装、装備が適正である。
- ② 静止スペースに入り、3秒以上10秒以内静止後スタート（静止とは、足踏み可）できる。（規定の時間停止できずに、スタートしてしまったら、×の判定）
- ③ スタートからゴールまでキャンター以上の走行である。（途中で速歩になってしまった場合は、×の判定）
- ④ **1の的、2の的 2走行とも全て（4的）的中する。**
- ⑤ ゴール通過後、停止位置に3秒以上10秒以内静止し、その後退場できる。
（馬を御しきれず、停止位置を過ぎてしまった場合は、×の判定）
（ア）落馬、放馬は失権とする。

上記①から⑤がすべて **○** の時、心得一級合格となり、以降初級受験資格を得ることができる。

初級クラス検定

○流れ

- (ア) 服装 (和装)、装備 (弓、矢) の確認
- (イ) 試走1走目 (1頭ずつ走行、矢は放たない)
 - ・静止スペースに入り、3秒以上10秒以内静止後、スタート (足踏み可) する。
 - ・ゴール通過後、停止位置に3秒以上10秒以内静止し、その後退場する。
- (ウ) 本走1走目 (的矢 2的 弓手横射 矢は番えてスタート)
 - ・静止スペースに入り、3秒以上10秒以内静止後、スタート (足踏み可) する。
 - ・1の的、2の的の騎射を行う。
 - ・ゴール通過後、停止位置に3秒以上10秒以内静止し、その後退場する。
- (エ) 本走2走目 ③と同じ
 - ※ 1走ずつ馬を変える。(抽選)
 - ※ 2走目は試走がありません

○コース

- ・静止スペース4m
- ・スタートから1の的 25m
- ・1の的から2の的まで50m
- ・2の的からゴールまで15m
- ・ゴールから静止スペースまで15m
- ・静止 (停止) スペース4m

○検定内容及び合格基準 (○、×で判定する)

- ① 服装、装備が適正である。
- ② 静止スペースに入り、3秒以上10秒以内静止後スタート (静止とは、足踏み可) できる。(規定の時間停止できずに、スタートしてしまったら、×の判定)
- ③ スタートからゴールまでキャンター以上の走行である。(途中で速歩になってしまった場合は、×の判定)
- ④ ゴール通過後、停止位置に3秒以上10秒以内静止し、その後退場できる。(馬を御しきれず、停止位置を過ぎてしまった場合は、×の判定)
 - ※ 落馬、放馬は失権とする。

上記①から④がすべて ○ で、しかも、12点以上獲得した時に、初級合

格となり、以降中級受験資格を得ることができる。

※ 1的5点満点×2的×2走行=20点満点

以上の2級、1級、初級検定は安定騎射走行ができないと競技委員に判断された場合、その検定は失格になる場合があります。

初級クラス合格者による競技

- ① 試走 一走（下乗り時に兼ねる場合あり）
 - ② 騎射 2走 2的（予定） 40点満点
- 1位が同点の場合のみ決勝を行うことがある。

保険・定員・参加費・締切りなど

- ・ 参加装束は和装
- ・ 参加者はヘルメットを必ずかぶってください（被らない方は出られません）
- ・ 検定及び競技参加者は何らかの傷害保険に加入していることと、当日そのコピーなど、加入を証明できる物の持参を参加の条件とします。

検定参加定員： 20名（定員が一杯になり次第締め切り）

検定合格者競技参加定員： 10名

参加費： 10,000円（検定料、借馬料）

◎ 昼食は各自ご用意ください。

運営に関して

発走係、的係、時計係、馬止係、得点集計係などは手の空いた参加者の持ち回りで運営いたしますのでご協力をお願いします。

先ず、参加希望人数を確認させていただきたく思っております。

参加希望者の方は、6月16日(水) 締切までにお名前ご連絡先をお知らせ下さい。

その後参加者を確定し、正式な参加申込書、誓約書等のご案内をさせていただきます。

申込者多数の場合は抽選になる場合があります。

〈タイムスケジュール〉

6月26日(土) 天候・参加人数、当日の状況によりタイムスケジュール変更あり

8:00 ゲートオープン（それ以前には駐車場に入れません。）

9:00 参加者集合・受付（本部テント前 *着替え後）

検定及び競技についての説明

10:00 初級クラス合格者による競技

11:00 初級クラス検定

12:00 心得二級クラス検定

※ お昼休みに来場者へのふれあいポニーや記念撮影にご協力ください。

13:30 ジュニアクラス検定（全体の流れによって変更する場合があります。）

14:00 心得一級クラス検定

15:30 検定合格者及び初級クラス合格者競技表彰

◎ 当日の状況で二級検定もしくはジュニア検定後に 30分ほど昼休憩をとる予定です。

《馬上弓くらべスクーリング競技規則》

序文 この騎射競技は、NPO法人 日本和種馬文化研究協会 が（所謂、流鏑馬を）「馬上弓くらべ」と言う名のもとに、和式馬術や和種馬を通じた日本文化、中世以降、武士により武芸鍛錬の為に行われてきた騎射技法を復元し、神事や流派にとられない競技として研究、且つその技術向上と普及（スクール及び競技会の開催）を図っている活動を、より多くの方々へのご案内、理解を深めて頂くと同時に、この開催を活性、定期化することにより参加選手をはじめ、その他の観客動員を含む文化的、観光的意味合いとしての地域活性及びその振興を目的とする。

第1条 馬上弓くらべは、弓矢を持って騎乗し、一定の距離を規定の時間内に走行する間、特定の場所に設置された的に弓を放ち、当たったところの得点によって順位を決定する馬術競技である。

第2条 馬上弓くらべは、日本古来より神事として伝承されてきた流鏑馬や、騎射として行われてきた笠懸等をもととして復元された競技である。従って競技者のみならず大会に携わる全ての関係者は、競技に臨むに際しても、心身の鍛錬と崇敬の精神文化の伝統にのっとり、その継承に務めなければならない。

第3条 競技場は、おおむね長さ180m、幅10m、高さ1.2mの埒の中に設置する。

第4条 走路は幅2.3m、長さ 競技路130mとする。
走路の両側には高さ1mの縄を張る。

第5条 的はジュニアクラスの検定1ヶ所、初級、心得クラスの検定2ヶ所、及び初級クラス検定合格者による競技会は2ヶ所とする。

的の位置は、地上より100～180cmとする。

的の得点表示は

初級クラス検定合格者による競技会は半径4cm間隔の正円10重丸とし、得点は中心円より外側に、10点、9点、8点、7点、6点、5点、4点、3点、2点、1点とする。

初級、心得クラス、ジュニアクラスの検定は半径8cm間隔の正円5重丸とし、得点は中心円より外側に、5点、4点、3点、2点、1点とする。

また、競技委員長の判断により、的の半径幅を縮小することができる。

第6条 得点は的に矢が当たったところの点数とし、境界にある場合は繰り上げてその得点とする。

第7条 競技者は、走路の始点から終点までの130mを25秒以内で通過しなければならない。（今回は検定会なのでタイムは参考資料とする。）

第8条 落馬、放馬、時間超過は無得点とするが、失権とはならない。

第9条 初級クラス検定合格者による競技会は、2回の騎射の合計得点で順位を決定する。

1位が同点の場合のみ第2的のみで再戦を行い、的の中心に近い方を上位とする。第3位以下で同点の場合は、同点同位とする。

第10条 服装は和装とし、表着、騎射袴を着用する。

初級クラス検定及び心得クラス検定、ジュニア検定は安全帽必着用とする。

靴は射沓、地下足袋、草鞋とする。

又、刃物類は一切所持を禁ずる。

第11条 馬装についてはウエスタン鞍に和鐙を使用する。初級合格者競技は一部和鞍を使用する
場合がある。

第12条 馬は、体高147cm以下の和種または和種系とし、それ以外の場合は競技審判長の判断に
委ねる。

第13条 弓矢は、基本的に弓道で使用しているものを用いることとするが、最終的に競技審判長
の裁定に委ねる。

第14条 発走係、的係、時計係、馬止係、得点集計係などは手の空いた参加者の持ち回りで運営
する。

第15条 競技会の名称には、年度、回数を入れる。

第16条 **本規則は、競技委員長が実情に応じて変更することができる。**

第17条 本規則は、平成 22年 6月 26日より実施する。

競技規則 補足

出発より終点までは、**ジュニアクラス検定及び 心得クラスニ級は先導馬に続き速歩で**
通過すること

心得クラス一級以上は駈歩で通過すること

初級検定合格者による競技会は、途中で速歩になってしまった場合、その走行は無得点
とするが、失権にはならない。(その他、微妙な判定は審判長の判断に委ねる。)

以上の馬上弓くらベスクーリング競技規則に準じて騎射競技検定を行いますが、検
定会のため競技内容ルールに多少の変更があります。(別記検定内容をご覧ください)